

科目名		基準点測量			
担当教員		稲田 巧		実務授業の有無	有
対象学科		測量建設科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		1年次に基準点測量Ⅰで測量器械の操作、手簿の記入、計算などを学習した。また、「公共測量作業規程の準則」の基準点測量分野についても学習した。基準点測量Ⅱでは「公共測量作業規程の準則」の続きを学習するとともに、閉合、結合トラバースの復習を行う。Y型トラバースにもチャレンジする。			
学習目標 (到達目標)		閉合、結合トラバースは理解する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		受験テキスト：日本測量協会 公共測量作業規定の準則 他プリント、資料を配布する。			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	測量士補国家試験対策授業			過去問10年間分の問題を解き解説する。最終的には、正解率70%を目指す。	
2	「公共測量作業規程の準則」基準点			1年次で学習できなかった残りの部分を学習する。	
3	閉合、結合トラバースの復習			1年次に学習した閉合、結合トラバースの復習を行う。	
4	Y型、H型のトラバース計算			Y型、H型のトラバース計算を行う。単に計算するだけでなく意味を理解する。	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
	取組姿勢	評価テスト	期末試験		
%	5 %	45 %	50 %	ぜひ2年次に受験する「測量士補」の国家試験に合格してほしい。勉強を通して測量に関する基礎知識を習得し、測量士補としてふさわしい実力をつけてもらいたい。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		測量会社にて測量業務24年			